

2013年1月15日

「ソロプチミスト絆プロジェクト～Heart to Heart～」2012年度報告書 No.3

あすへの希望…わたしたちは応援します

国際ソロプチミストアメリカ日本北リジョン
ガバナー 遠藤 妙子



2011年3月11日に発生しました東日本大震災により被害を受けられた人々への鎮魂、被災地の復興、そして震災で遺児・孤児になられました中学3年生の皆様へ励ましの思いを込めて、SIA日本5リジョンは「ソロプチミスト絆プロジェクト～Heart to Heart～」を立ち上げました。1回目は、63名の支援生を募り、4月から支援を開始いたしました。

被災地の復興も状況も日に日に変化する中で、第2回目、2012年12月15日締切り内の募集は無理なのではないかと心配しておりましたが、年内に81名の支援生を募ることができましたこと感無量でございます。

雪のちらつく寒い日々、師走の超ご多忙な12月、被災地の皆様が教育委員会、中学校を何度も訪問していただき、ソロプチミストが、このような素晴らしいプロジェクトを行なっていることをPRし、プロジェクトの主旨を分かりやすくご説明下さいました。皆様のご尽力に、心から感謝申し上げます。

4月、生徒さん達は目標に向かって高校生活のスタートをきります

申請書に寄せられた生徒さんたちの声を、会員の皆様にご紹介したく報告書にまとめましたので、ご高覧いただけますと幸いです。



- 自分が被災していても、他の被災者のために全力で行方不明者を探す姿に感動しました。僕の夢はそんな方々と同じ消防士になることです。 (C, K)
- 僕は父と家を流されてしまいました。この震災で助け合うということを知りました。僕は人の役に立てるような大人になりたいです。 (S, M)
- 私は父子家庭でした。震災後過労のため父が急死しました。将来父のように一生懸命仕事をして、信頼される人になりたいです。 (S, C)
- 震災で母を亡くしました。母は私の憧れで尊敬できる人でした。母のように周りの人たちを笑顔にできるようにしたいです。 (F, M)
- 震災で父が行方不明になり、1カ月たっても帰っては来ませんでした。母と妹ようやく会えた時はとても嬉しかったです。私は高齢者や体の不自由な人を介護する道に進みたいと思っています。 (K, R)
- 震災で自衛隊員が皆さんの心の救いになり感動しました。私は将来放射能に強い農作物を研究したり、医薬品開発をする仕事につきたいです。 (R, A)
- 私は以前友達に暴力をふるったりしていました。震災で母を亡くしましたが母との約束、「大きくなったら家具を作ってあげる」このことを忘れません。 (T, H)
- 両親は優しく、時に厳しく私を育ててくれました、思いやりがあり、周囲の人から信頼の厚い両親のようにしたいです。 (A, Y)
- 小学生の時母がいなくなりました。祖父母と暮らしていましたが、震災で祖母が亡くなりました。被災地で公務員の方が市民のために働いている姿をみて、将来は公務員になりたいと思いました。 (T, Y)
- 震災で自宅が全壊、父が亡くなりました。自分はあまり勉強が得意ではありませんが、どんなに厳しいときや大変な時でも、諦めない心を持ち続けたいと思います。 (S, K)
- 白浜を守ろうとして最後まで逃げずに水門に立っていた父を、多くの人が見ていました。勇敢な父の息子ということを誇りに思い、父に助けてもらった命を大切にしたいです、そして父のような男になりたいです。 (S, H)
- 私は父を失った悲しみで「明日死んでもいい」と、本気で思っていました。私は自衛官になって、私のように生きる自信を無くした人たちを救いたいです。 (T, H)
- 私の夢はプロの太鼓打ちになることです。支援をして下さった世界中の方々に感謝の音を響かせたいです。 (M, A)
- 震災で私は三人の家族を失いました。精神が不安定で人と関わりたくないと思いましたが、強い人になり多くの人を支えたいです。 (S, K)



- 私が生まれ育った町は、何もなくなってしまいました。失ってから初めてその大きさに気づきました。将来地元へ貢献し、優しく強い亡き父のようにになりたいです。 (I. H)
- 沢山の人を助けられる看護師になりたいです。被災直後、避難所でお年よりの人たちが支援活動を積極的にしてくれました。「ありがとう」の言葉を忘れず、困った人を助けたいです。 (S. H)
- 職場や友人や近所の方々に愛され頼りにされていた母でした。大好きで誇りです。母のようにになりたいです。 (A. H)
- 震災で父を亡くしました。命の大切さがわかる人になりたいです。そして社会に貢献できる人間に成長したいです。 (U. N)
- 僕は特別支援学級に所属しています、父を震災で亡くしました。父のお寺を再建したいと思っています。 (T. M)
- 電車の車掌さんだった父が亡くなってからお線香をあげに来てくれた人が、父から沢山のアドバイスを受けてとても感謝していると、私の知らない父の姿を初めて知りました。将来父のようにになりたいです。 (K. S)
- 震災で父を亡くしました。これからは一日一日を大切に、時間を無駄にせず、後悔の無い毎日を送りたいです。 (M. S)
- 私は震災で父を亡くしました。保育園児の弟を抱きしめ、気持ちを落ち着かせるのに必死でした。父の死を覚悟しながらの日々は、本当に辛かったです。 (S. T)
- 私は警察官になりたいです。震災での警察官の姿に感動したからです。大好きな福島県の復興に、少しでも貢献出来ればと思っています。亡くなった人のことを忘れず、その人の分までたくましく生きていきたいです。 (C. J)
- 僕は将来建築士になりたいです。震災で家を失った人たちがとてもかわいそうだからです。子供も大人も体が不自由な人も、苦労することなく暮らすことが出来る家を建てたいです。 (S. H)
- 亡き母の分まで生きて、悔いの残らない生き方をするのが、支援をしてくださった方々への恩返しと思っています。 (K. Y)
- 震災によって母を亡くしました。「お前なら出来る」という父の言葉に、自信とやる気が出ました。 (T. M)
- 震災で大好きな祖母と祖父を亡くし、父も亡くしました。頼れる存在を失ってしまった私は、強くなるには長い時間がかかるでしょうが、どんな試練も乗り越えて努力していきたいです。 (K. M)
- 僕は震災で両親と姉、祖父を亡くし、妹と二人っきりになりました。僕は持病もあり、時々発作もおきます。僕は頑張って「君といると癒される」と言われるようにになりたいです。 (Y. K)



- 毎日がれきの中を消防団として働いていた父はくも膜下のため亡くなりました。祖父もがれきの片付けで疲労のため亡くなりました。父のように世の中のために役に立つようになり、妹と祖母の面倒をよく見ていきたいです。 (S, K)
- 私は母を亡くし、祖父母と一緒に暮らしています。祖父母が長生きできるように、調理師免許と栄養士の免許を取得したいと考えています。 (K, M)
- 世界中の人々が心をつなぎひとつになって、笑顔いっぱいの人々を増やしていける自分になれるよう努力したいです。 (T, Y)
- 父を亡くしました。命を大切にし、母、祖父母、弟と妹を父の代わりに助けて、将来は父のような父親になりたいです。何よりも家族を大切にしてくれた父のような男になりたいです。 (H, A)
- 「人は皆で協力してゆかねば生きてゆけない」と言うことが震災を体験してわかりました。誰にでも優しくできる人になりたいです。 (O, T)
- 父を亡くしました。命の大切さ、思いやりのある感謝の気持ちを忘れない人になりたいと思います。お父さんの分もこれからの人生を一生懸命歩いてゆきたい。将来は、お世話になった方々に応えるためにも、人のために役に立つ仕事に就きたい。そして、社会に貢献できる人間として、成長してゆきたいです。 (S, T)
- 震災で大きな被害を受けそのショックが大きく、しばらくの間ボーッとした日々が続きました。多くの人の支援で、やっと普通の生活が出来るようになり感謝しています。 (T, H)
- 母を亡くしました。周りの人たちもそれぞれつらいことや悲しいことなど悩みを抱えながら生活しているのに、その中で、他人から勇気や元気をもらいました。プラス思考に考え、笑って生活したい、人の心の痛みや、悲しみのわかる人になりたい。 (A, A)
- 警察官が震災で働く姿に感動しました。行方不明者を懸命に探したり、皆に励ましの言葉をかけてくれたりと、親身に接してくれました。警察官の方にも心配する家族があるはずなのに・・・ (S, K)

深くはかり知れない心の傷を新たな志に変え、毅然と前を向いて歩き始めている支援生に、私たちは心からのエールを送り、見守り続けていきます。

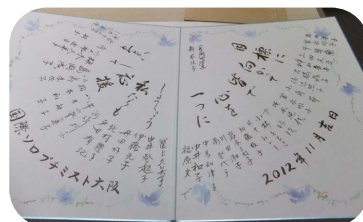
【発行者】 国際ソロプチミストアメリカ日本北リジョン ガバナー 遠藤妙子
【事務局】 〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目8-1 北7条ヨシヤビル3F
日本北リジョン事務局
TEL(011)756-8161 FAX(011)756-8162
E-Mail: sia-jkita@world.odn.ne.jp ホームページ: <http://www.navi-kita.net/sia-kita/>

～あなたとの心の交流を続けます～

日本北リジョン内そして他リジョンの多くの方々より、支援生に対し温かい励ましのメッセージ入りクリスマスカードをいただきました。私たち理事会は、早速昨年
の支援生 63 名にお贈りいたしました。そのカードに対し、何名かの支援生の方々よりお礼のお手紙をいただきましたので内 2 通をご紹介します。



☆皆様から寄せられたメッセージは 100 通を超えました☆



こんにちは!! 私は宮城県石巻市に住んでいる高校 1 年生です。
あなたからのクリスマスカードとても嬉しかったです。
ありがとうございました。
ソロプチミストの皆様のご支援にはいつもとても感謝しています。
4 月に入学した高校では、学校生活にも慣れ、新しくできた友達と
楽しい毎日を過ごしています。私は、今もこうして支援して下さっ
ている皆様への感謝の気持ちを忘れずに、将来自分も、人を支えて
あげることのできる思いやりのある大人になれるように頑張ってい
きたいと思います。
まだまだ肌寒い日が続きますが、風邪などひかないようにお体お大
切になさってください。
乱文お許してください。それでは、お元気で。 (A. M)



この度は、このようなお手紙 (クリスマスカード) をいただき
ありがとうございます。
色々なかたちで、多くの方々から支援して頂き大変嬉しく思います。
私は、石巻の現役の高校生です。
具体的な夢はまだ見つけることができていませんが、3・11 以来、
誰かの役に立つ仕事に就きたいと心に強く決めていました。
なので今は、高校の授業を一生懸命受け、部活動に励み、一日一日
を大切に過ごしていく事が自分にとって大切なことだと思います。
これからは、多くの方に支えられながら頑張っていきたいと思いま
す。
次、遠藤妙子様にお手紙を書く時があれば、もっともっと成長し、
たくさんの方の事を教えられたら良いなと思います。
弘前市は宮城県より寒いと思いますので、お体に気をつけて下さいね。
(K. M)